



平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月10日

上場会社名 タビオ 株式会社
 コード番号 2668 URL <http://www.tabio.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 勝寛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 谷川 繁
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6632-1200

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	4,129	2.4	227	6.6	231	7.5	20	△83.1
29年2月期第1四半期	4,032	△9.7	213	△46.7	215	△47.1	118	△49.5

(注)包括利益 30年2月期第1四半期 42百万円 (△59.5%) 29年2月期第1四半期 105百万円 (△48.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	2.94	—
29年2月期第1四半期	17.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第1四半期	9,387	5,639	60.1
29年2月期	9,250	5,800	62.7

(参考)自己資本 30年2月期第1四半期 5,639百万円 29年2月期 5,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,552	4.1	△21	—	△15	—	△149	—	△21.87
通期	16,457	3.7	444	△9.3	456	△9.2	89	△62.0	13.07

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期1Q	6,813,880 株	29年2月期	6,813,880 株
② 期末自己株式数	30年2月期1Q	1,826 株	29年2月期	1,826 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期1Q	6,812,054 株	29年2月期1Q	6,812,054 株

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見直し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年3月1日～平成29年5月31日）における国内経済におきましては、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移しており、個人消費は持ち直しの兆しが見られるものの、米国新政権における日本経済に与える影響懸念や朝鮮半島の情勢不安などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

国内衣料品販売におきましては、節約と贅沢のメリハリを利かせた選別消費が強まる中で、人とは違うモノが欲しいというプレミアム商品に対する需要が高まっており、ますます自社企画の強みを生かした高付加価値商品の提案が重要となってきております。

このような状況の中で当グループは、店頭から生産現場までを結んだ情報システム網を活用し、製造・販売を一体化した自己完結型の国内生産体制の強みを生かしながら、多様に変化する顧客ニーズに、機敏かつ柔軟に対応できるように尽力して参りました。

当グループの主力部門である「靴下屋関連部門」では、自社の強みを発揮した鮮度の高い新商品の企画や最新トレンドに迅速に対応した商品提案を行うと共に、エリア戦略としてのスクラップ&ビルドによる既存店の強化を行って参りました。また、モノからコトへの消費動向の変化を受けて、コト消費に焦点を当てたライフスタイル型ショップの企画や、オムニチャネル戦略を絡めたプロトタイプ店舗の開発を行うべく、ブランド戦略のブラッシュアップに向けた取り組みに着手して参りました。

「ショセット関連部門」における「ショセット事業」では、「GINZA SIX」を始めとするハイセンスな立地での『タビオ』店舗の確立を推進していくと共に、働く大人の女性に向けた上質で機能性に優れた商品の企画・提案を行うことにより、『靴下屋』店舗との差別化を図って参りました。また、「紳士靴下事業」では、メンズ単独店舗におけるストアブランドの確立を図って行くと共に、レディースとメンズの複合店におけるメンズ売場の強化を図ることにより、メンズ売上の拡大とブランド力向上に向けた取り組みに尽力して参りました。

海外展開におきましては、引き続き欧州事業の店舗運営と収益基盤の強化に取り組むと共に、米国におけるEC事業の開始に向けた取り組みに着手して参りました。

出退店状況におきましては、フランチャイズチェーン店1店舗、直営店2店舗の新規出店と、フランチャイズチェーン店4店舗、直営店1店舗の退店により、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、フランチャイズチェーン店98店舗、直営店184店舗（海外4店舗を含む）、合計282店舗となりました。

利益面におきましては、当社の連結子会社であったTabio Europe Limitedの清算が完了したことに伴う為替換算調整勘定の取崩額40百万円を関係会社清算損として計上致しました。また、繰延税金資産の回収可能性を検証した結果、資産除去債務に係る繰延税金資産を93百万円取崩し、法人税等調整額（税金費用）を同額計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,129百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は227百万円（前年同期比6.6%増）、経常利益は231百万円（前年同期比7.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20百万円（前年同期比83.1%減）となりました。

なお、当グループの売上高は、取扱い商品が防寒という機能を持つ靴下のため、上半期（3月～8月）に比べ下半期（9月～2月）に販売される割合が大きくなっております。従いまして第1四半期を含む上半期の売上高と下半期の売上高との間には著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

また、第1四半期（3月～5月）は、第2四半期（6月～8月）と比較して売上高の水準が高くなる期間であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金219百万円、投資その他の資産その他198百万円減少しましたが、売掛金350百万円、商品148百万円、有形固定資産その他52百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて137百万円増加し、9,387百万円となりました。

負債については、電子記録債務144百万円、長期借入金73百万円減少しましたが、流動負債その他286百万円、買掛金250百万円の増加があったこと等により、前連結会計年度末と比べて299百万円増加し、3,748百万円となりました。

純資産については、利益剰余金の減少等により、前連結会計年度末と比べて161百万円減少し、5,639百万円となりました。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.7%から60.1%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想については、平成29年4月10日に公表しました業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,043,276	2,823,923
売掛金	700,479	1,051,455
商品	643,283	791,920
貯蔵品	512	461
その他	213,563	231,240
貸倒引当金	-	△1,725
流動資産合計	4,601,114	4,897,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,014,194	1,005,999
土地	1,182,654	1,182,654
その他(純額)	337,566	389,623
有形固定資産合計	2,534,416	2,578,277
無形固定資産	372,596	356,154
投資その他の資産		
差入保証金	1,402,690	1,415,510
その他	339,353	140,627
投資その他の資産合計	1,742,044	1,556,138
固定資産合計	4,649,056	4,490,570
資産合計	9,250,171	9,387,847
負債の部		
流動負債		
買掛金	576,639	826,980
電子記録債務	680,267	535,465
短期借入金	292,800	292,800
未払法人税等	57,182	22,184
賞与引当金	90,360	30,883
ポイント引当金	10,341	16,114
その他	574,910	861,329
流動負債合計	2,282,501	2,585,757
固定負債		
長期借入金	434,800	361,600
退職給付に係る負債	170,541	170,989
資産除去債務	298,279	309,404
その他	263,120	320,664
固定負債合計	1,166,741	1,162,657
負債合計	3,449,242	3,748,415

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	414,789	414,789
資本剰余金	92,424	92,424
利益剰余金	5,325,473	5,141,120
自己株式	△1,000	△1,000
株主資本合計	5,831,686	5,647,332
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△30,757	△7,900
その他の包括利益累計額合計	△30,757	△7,900
純資産合計	5,800,929	5,639,432
負債純資産合計	9,250,171	9,387,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
売上高	4,032,928	4,129,564
売上原価	1,766,058	1,772,123
売上総利益	2,266,870	2,357,440
販売費及び一般管理費	2,053,643	2,130,084
営業利益	213,226	227,355
営業外収益		
受取利息	602	502
仕入割引	2,761	2,941
為替差益	-	895
受取手数料	303	150
その他	1,573	1,608
営業外収益合計	5,240	6,097
営業外費用		
支払利息	1,468	1,578
為替差損	1,153	-
その他	203	150
営業外費用合計	2,825	1,728
経常利益	215,641	231,725
特別損失		
固定資産除却損	1,451	2,445
関係会社清算損	-	40,777
減損損失	13,852	10,122
特別損失合計	15,303	53,345
税金等調整前四半期純利益	200,337	178,380
法人税、住民税及び事業税	33,072	15,578
法人税等調整額	48,624	142,793
法人税等合計	81,697	158,372
四半期純利益	118,640	20,007
親会社株主に帰属する四半期純利益	118,640	20,007

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	118,640	20,007
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△12,932	22,856
その他の包括利益合計	△12,932	22,856
四半期包括利益	105,708	42,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	105,708	42,864
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

当グループは、靴下に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。